

「高校生等の発達障がいと 支援について」

平成30年度健全育成委員会・研修会
平成30年10月 3 日（水）いわき生涯プラザ
富岡支援学校 特別支援教育コーディネーター
加藤 良一



A D H D

注意欠如・多動症。不注意、多動性、衝動性がみられる。生活面では「忘れ物が多い」「じっと座ってられない」などの行動が目立ち、**落ち着きのない子**と言われがち。

A S D

自閉スペクトラム症。対人関係での困難と、こだわりの強さがみられる。生活面では「不適切な発言」「好き嫌いが激しい」などの行動が目立ち、**空気の読めない子、融通がきかない子**と言われがち。

S L D

限局性学習症。一般には**L D（学習障害）**ともいう。読み書きや計算など、学習面のスキルの一部が育ちにくい。**学習意欲のない子**と言われがち。

その他の発達障がい

吃音症、トゥレット症候群など

発達障がい

二次障がい

発達障がいの特性

困難に直面しやすい
許容量が少ない

二次障がい・三次障がい
つらい体験が繰り返され、
ストレスで心身の症状がでる。

不安障がい
双極性障がい（躁うつ）
うつ病 など

人間関係のトラブル
いじめ 不登校 など





発達障がいの人が 困ること・・・



- ・ 誰に相談すればよいか分からない。
- ・ うまく説明できない。
- ・ 何に困ってるか自分でも分からない。



- ・ 苦手なことが多い。
- ・ 失敗経験を重ねている。
- ・ 自信がない。



- ・ 見通しが持ちづらい
- ・ イメージが苦手



- ・ 授業が分からない。
- ・ 失敗経験を重ねている。
- ・ 自信がない。



- ・ コミュニケーションが苦手
- ・ 人との関わる経験が少ない。



- ・ 頑張りすぎる。
- ・ 疲れやすい。
- ・ メリハリの付け方が分からない。



- ・ 偏食、栄養が偏る。
- ・ 寝付きが悪い。
- ・ 睡眠不足、運動不足

サポートのポイント



将来の見通し



相談できる人・サポート



熱中できる楽しみ



分かる授業・経験



心許せる友達



リラックス



規則正しい生活リズム

サポートの基本



個別



集団・全体

連携（つなぐ）



サポートの基本



- ・見通しが持ちづらい
- ・イメージが苦手



言語化
(ことばにする)



視覚化
(見えないものを見えるようにする)



言語化 (ことばにする)



視覚化 (見えないものを見るようにする)

世の中には、
目に見えないけど大事なことが
たくさんある。
→見えないものが分かりにくい！

- ・過ぎ去った過去（トラブルの原因や過程）
- ・まだ見ぬ未来（今さえ良ければいい）
- ・そのものの価値（お金、カードやスマホ支払い）
- ・SNS（相手の気持ちは見えないのに文字だけ残る）





言語化

(ことばにする)



視覚化

(見えないものを見えるようにする)



- ・相手の気持ち
- ・自分の気持ち、自分自身（自分のことが一番見えない）

「ちょうど良い自己理解」



構造化



視覚化

(見えないものを見えるようにする)

「場の構造化」

- ・ 本棚や机などの配置の意味をわかりやすくする。
- ・ 色・絵・文字などによって示された指示を、自分で判断ができるようにする。
- ・ 何をするか分かる、動線が見える。

「時間の構造化」

- ・ スケジュール
- ・ どのような予定で進むのか予告し、それをいつでも見えるようにする。



ソーシャルストーリー



言語化
(ことばにする)

世の中の暗黙のルールや
コミュニケーションスキルを
平易な文章・
読み手の人格を肯定する文体
で書いたもの

- ・ 社会の仕組み
- ・ 分かっているもののとして誰も説明してくれないこと
- ・ 友人間、家庭内、学級・学校、部活の暗黙のルール

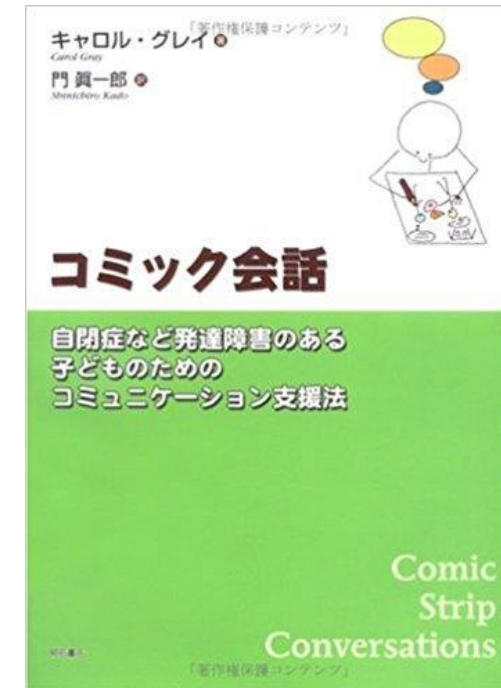
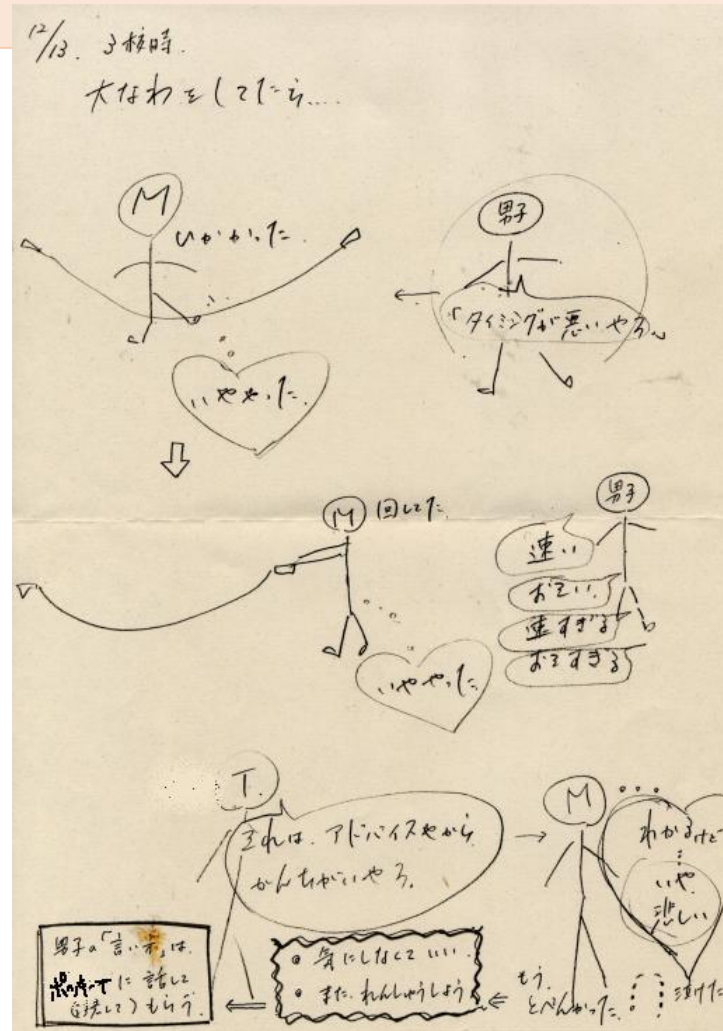


コミック会話



言語化 (ことばにする)

- ・出来事の順番、登場人物の関係、発した言葉、気持ちなどが分かる。
- ・そもそもの原因を忘れない。



身近な視覚支援



視覚化

(見えないものを見えるようにする)

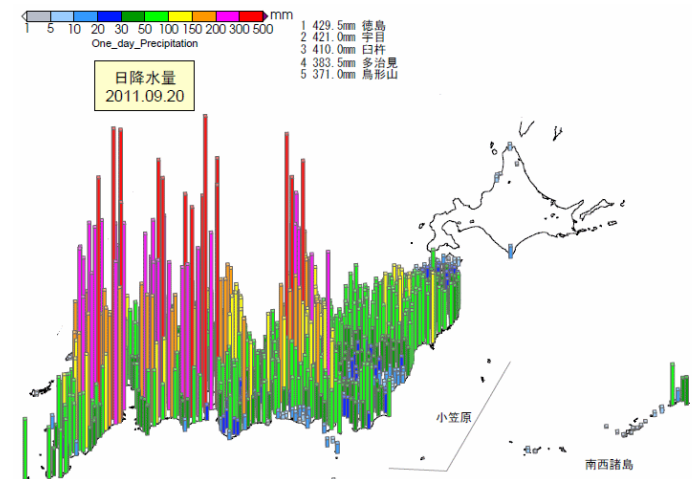
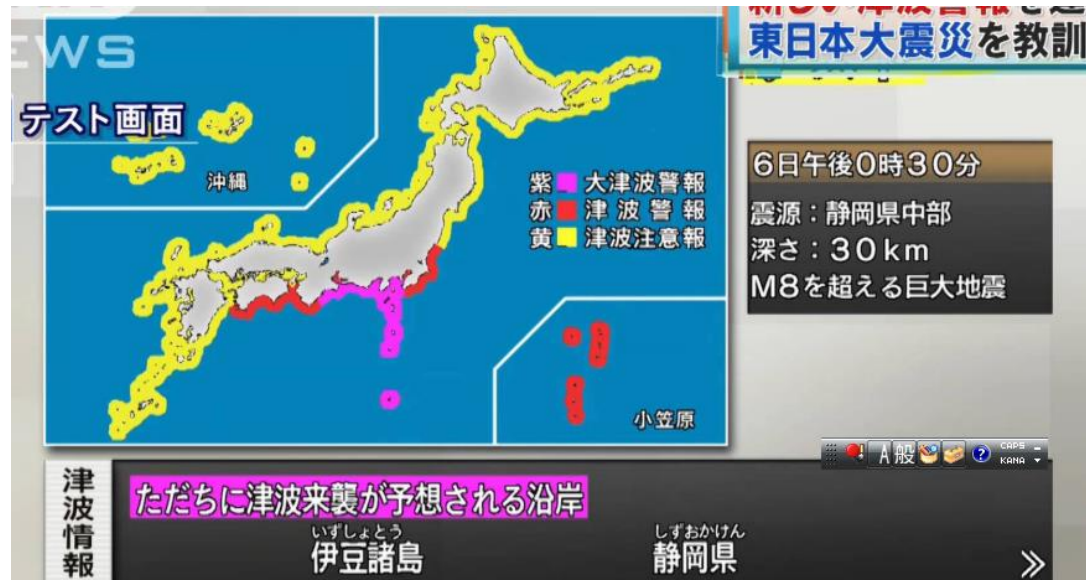




身近な視覚支援

視覚化

(見えないものを見えるようにする)



ソーシャルスキルとライフスキル

ソーシャルスキル

人間関係の築き方やコミュニケーションなど他の人と関わる方法、集団生活のトラブルを減らす。

- ・友達との付き合い方
- ・適切な話し方
- ・集団行動でのふるまい方



参考：「発達障害の子のライフスキル・トレーニング」
梅永雄二監修（講談社2015）

ライフスキル

健康管理から対人関係まで、生活面のスキルすべて。

- ・食べる、眠るなどの基本的生活習慣
- ・生活環境の管理
- ・先の見通しをもって生活する



ソーシャルスキルとライフスキル

ライフスキル

- | | | | |
|---|-------|----|-------|
| 1 | 身だしなみ | 6 | 外出 |
| 2 | 健康管理 | 7 | 対人関係 |
| 3 | 住まい | 8 | 余暇 |
| 4 | 金銭管理 | 9 | 地域参加 |
| 5 | 進路選択 | 10 | 法的な問題 |

ソーシャルスキル ライフスキルのトレーニング



言語化
(ことばにする)

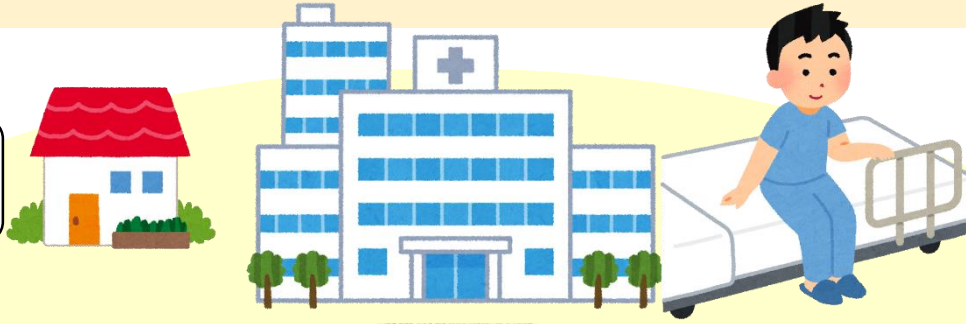


視覚化
(見えないものを見えるようにする)

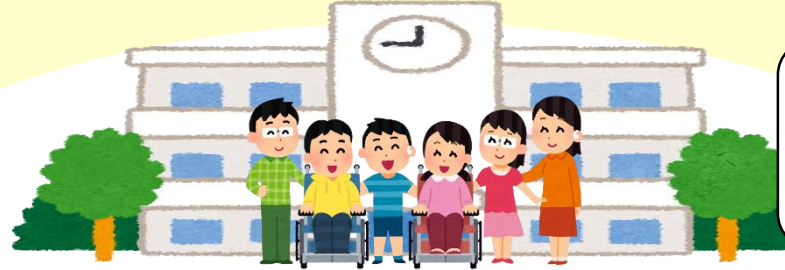
具体的に練習する。

いろいろな学びの場（小・中学校）

自宅・病院で
の訪問学級



特別支援学校



支援員のサポート



特別支援学級



通級での学習



専門家のサポート



通常学級での学習





知的障がい



特別支援学校



病弱



視覚障がい

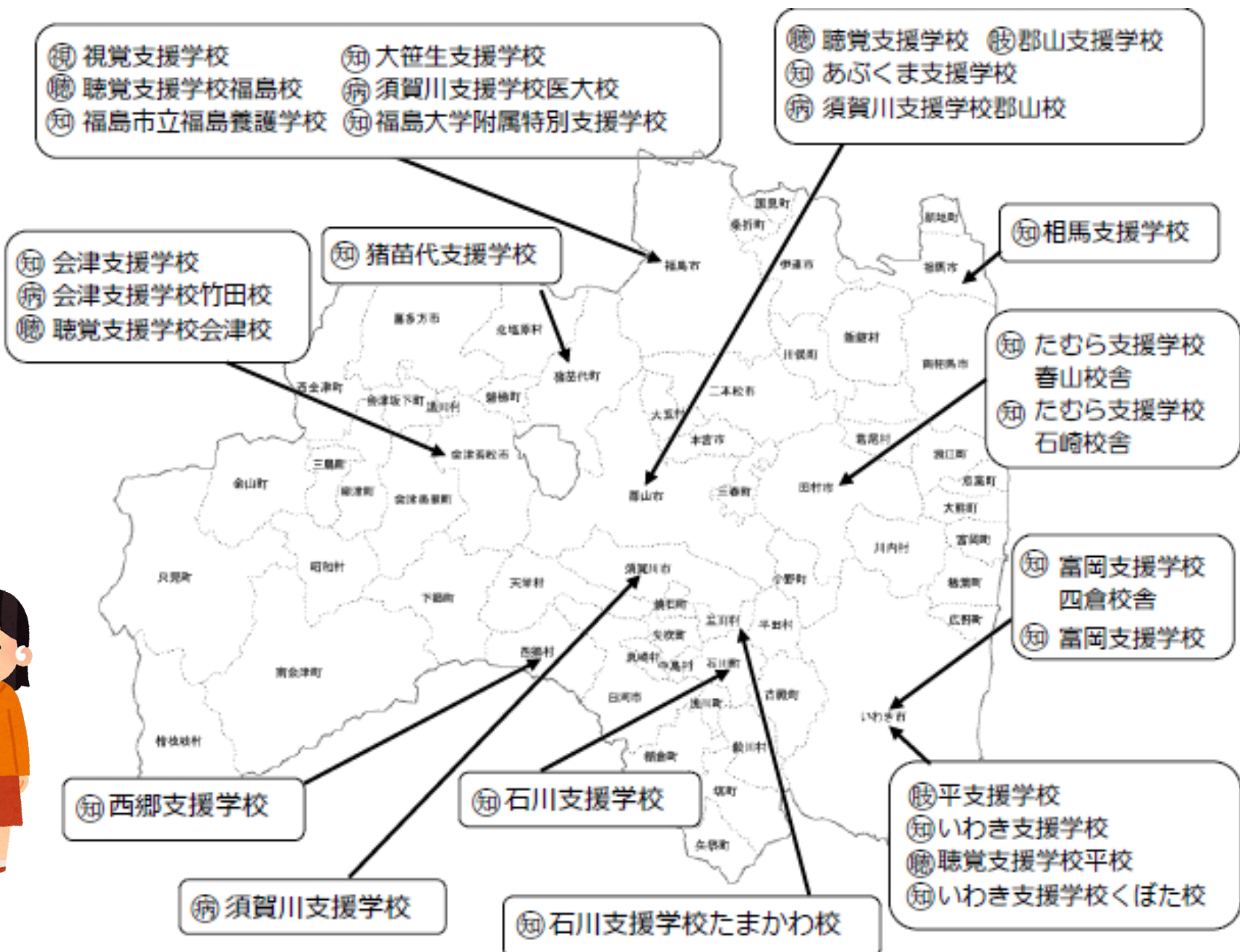


聴覚障がい



肢体不自由

福島県内の 特別支援学校

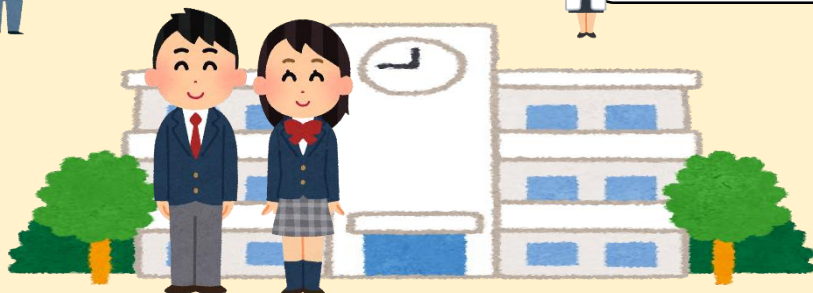


高等学校での特別支援

特別支援教育
コーディネーター



養護教諭



高等学校

センター的機能・でかける支援



支援学校の地域支援センター



特別支援学校・高等部



スクールカウンセラー



スクールソーシャルワーカー
S S W

学びと育ちの連続性・切れ目ない支援

富岡支援学校・地域支援センター 「さくら相談室」

福島県立富岡養護学校
教育相談 地域支援のご案内

さくら相談室

お子さんの
発育の不安
ことばの遅れ
友達との関係

教育現場での
学習指導等に
関する相談

子育て・就学・卒業後
の進路・地域生活など
の相談をおこなって
います。

富岡マスコットの
チェリーちゃんです
よろしくね！

まずはお気軽にお電話ください

《連絡先》

0246-34-7050

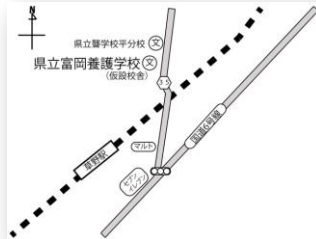
《相談受付時間》 午前9時～午後4時

福島県立富岡養護学校（窓口：教頭）

〒970-0116 福島県いわき市平馬目字馬目崎61

（福島県立聾学校平分校敷地内仮設校舎）

<http://www.tomioka-sh.fks.ed.jp/>



言うことを聞いてくれない？
何度言ってもわからない？



友達とよくけんかする？
ひとり遊びが好き？



危険がわからない？



勉強についていけない？



お子さんの悩みを、
一緒に考えます。つなげます。

子育ての悩み

就学の相談

授業の支援

託児所探し



お電話ください

保健師さん



放課後等デイサービス

学校見学

さくら相談室

教育委員会

相談支援事業所

医療機関

お問い合わせは…

福島県立富岡養護学校

さくら相談室

0246 (34) 7050

受付：平日9:00～16:00

本校ホームページ

<http://www.tomioka-sh.fks.ed.jp/>

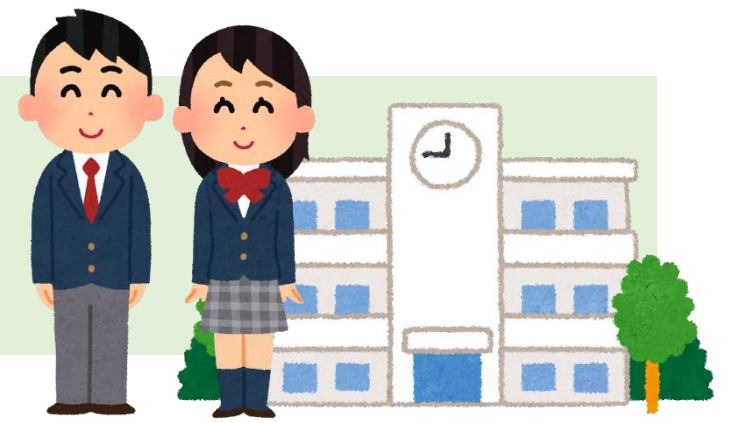
本校 Facebook ページ

<https://www.facebook.com/tomioka.yougo>

QRコード



高等学校での例



例 1)

中学校で不登校だった生徒が、定時制の高校に入学し、「選択の時間」などで、学び直しを行っている。

登校し、授業を履修することが大事だという仕組みをあらためて説明してもらい、理解することで、意欲をもって学習している。

担任などの先生も、配慮をして一日でも休むと家庭に電話で連絡をとっている。



授業に出る意味、履修などの仕組みを知る。



学校や担任などとの
日ごろの連絡

高等学校での例



例 2)

高等学校在学中から知的障がいの診断を受け、療育手帳をもっていて、路線バスで手帳を見せて毎日登校している。

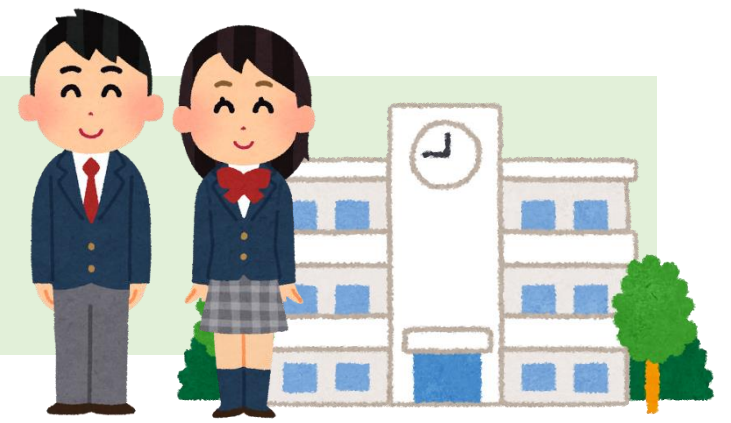
在学中、早めに障害者雇用を目指すことに決めて、卒業後、実際に就職できて、運転免許もとって、現在、毎日通勤している。



早い段階での
障害の受容

障害者雇用の選択など
サービスの活用についての理解

高等学校での例



例 3)

パソコンが得意で、高校卒業して就職時に母親が会社で生徒の特性について説明をした。

本人の得意なことや性格に仕事があっていたようで、パソコン入力の仕事に集中することができ、休むこともなく、きちんと仕事をして定時に帰宅している。

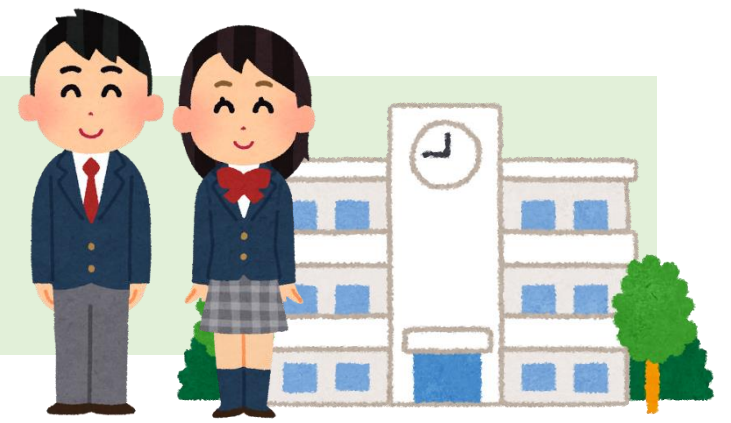
本人にとって落ち着いた生活を行っている。



本人の特徴や
良いところの理解

就職先とのつながり

高等学校での例



例4)

中学校のときに特別支援学級に入ること、手帳を申請することなど、保護者も受容することができなかった。

中学校、高校時代も赤点ぎりぎりで何とか頑張った。

高校卒業後、企業に就職できたものの、それまでに、しっかりと支援や指導を受けてきていなかったので、仕事ができず離職してしまった。



本人の頑張りが
進路につながらない



障害受容の難しさ

高等学校での例



例5) 小・中学校では困ることがあっても何とか頑張って乗り切り、高校に入学した。しかし友達とのトラブルや生活面や学習面での課題も多く、進学が難しくなってきた。校内の養護教諭や特別支援コーディネーター、特別支援学校への教育相談やSSW（ソーシャルスクールワーカー）など関係機関の支援を受けて生活面での課題に具体的に取り組んでいる。



本人の頑張りが
進路につながらない

関係機関の支援



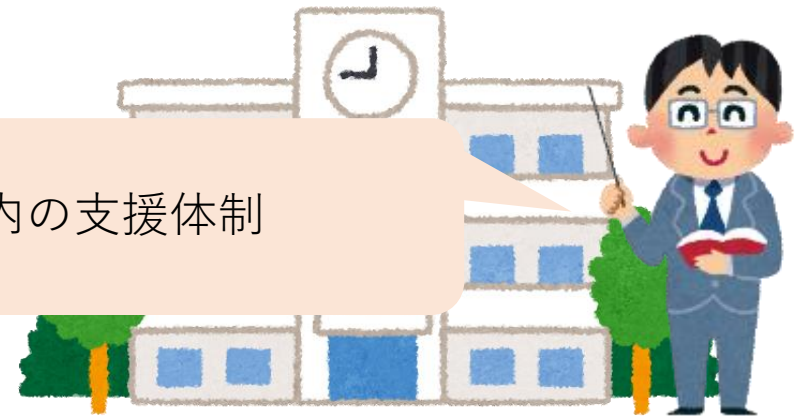
高等学校での例



例6) 卒業後、就労先で必要なスキルを身につけるために、本人の困り感を捉えてスキルトレーニングを放課後行っている。また、学習上の課題について、放課後希望者に学習支援も継続して行っている。



学習支援
スキルトレーニング



校内の支援体制

困り感と支援の例（高校）

<特性>

- ・見通しが持ちづらい
- ・イメージが苦手



赤点を取り進級できないと思い悩む

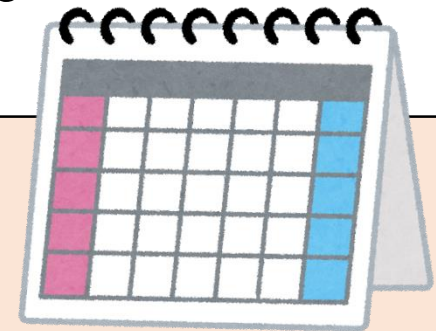
<小・中学校との違い>

- ・単位を取らないと進級、進学できない
- ・将来の希望を失いがち



支援の例

- ・試験対策の方法を示す。予定表を作る。
- ・勉強する問題集のページや覚える単語の数などを示す。
- ・進行状況を予定表を見て一緒に確認する。



困り感と支援の例（高校）

<特性>

- ・見通しが持ちづらい
- ・イメージが苦手
- ・想像力が弱く、将来設計が苦手



目標が見つからないが将来への危機感がない。

<小・中学校との違い>

- ・高校生だからと大人が干渉しなくなる。



支援の例

- ・大人から相談を持ちかける。
- ・本人の良いところを具体的に指摘して褒める。
- ・将来像や実現の道筋を具体的に示す。



困り感と支援の例（高校）

<原因>

- ・見通しが持ちづらい
- ・イメージが苦手
- ・言葉の理解が困難
- ・自由な判断が苦手
- ・経験不足



進路について決断を迫られるが判断に迷う。

- ・自由だと混乱する。
- ・選択肢そのものが把握できない。
- ・理解がずれている。



支援の例

- ・選択肢を具体的に分かりやすく示す。
- ・進路選択のスケジュールや手順を示す。
- ・暗黙の了解としてしていることも具体的に説明する。
- ・外部の支援を活用する。

困り感と支援の例（大学など）

<原因>

- ・コミュニケーションが苦手
- ・見通しが持ちづらい
- ・イメージが苦手
- ・自由な決断が苦手
- ・誰に相談すればよいか分からない。
- ・うまく説明できない。
- ・何に困ってるか自分でも分からない。



頑張って入試を切り抜けたが、入学後急に勉強につまづいてしまった。

- ・本人任せのことが一気に増える。
- ・討論、論文中心になる。
- ・履修登録が理解できず、年度末に気づく。
- ・試験会場を自分で確認しなくてはならない。
- ・ゼミでの討論が口論になってしまう。
- ・論文を期日までに書けない。
- ・テストの日に気づかず友達からの連絡で知る。



困り感と支援の例（大学など）

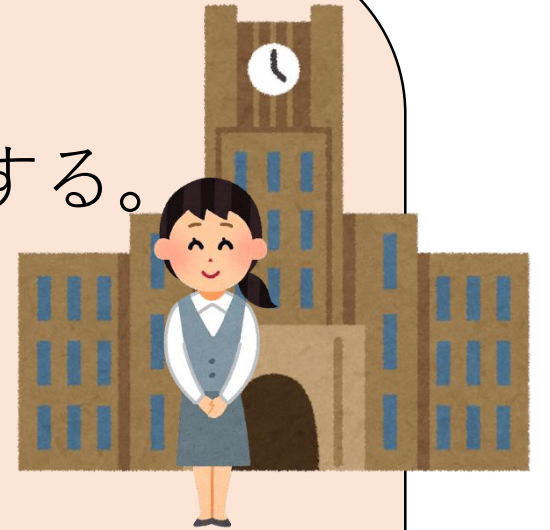
支援の例

<大学教員、職員>

- ・履修登録と課題提出についての説明と確認をする。
- ・学生相談室のカウンセラーが相談にのる。
- ・担当教員が定期的に確認する。

<保護者>

- ・定期的に連絡をとる。
- ・理解のある友達や大学職員に頼む。
- ・会話を増やし、こまめに支援する。
- ・質問しながら聞いて聞き役になる。
- ・柔軟に聞く。みんなで聞く。



支援の例

社会性の乏しさは「マナー」でカバーする。

「自分が話をするとき」

- ・自分ばかり一方的に話し続けないで一段落ついたら他の人の話を聞く。
- ・相手と同じくらいの声の大きさを話す。
- ・丁寧なことばで話す。
- ・話をしている人に顔と視線を向ける。複数の人と話すときは、順番に顔を見る。



「相手と話をするときは」

- ・1メートルくらいの距離をとる。
- ・相手の顔の中心を見る。じっと目を見つめ続けない。
- ・話の内容がわかった時には、軽くうなずく。
- ・あくびをしたり、体をあちこち動かさない。

など



女性の発達障がい



<傾向や困り感>

- ・ ガールズトークについていけない。
- ・ 友達に嫌われても理由が分からない。
- ・ 女の子らしくしなさいと叱られる。
- ・ 急に感情がダウンすることがある。
- ・ 人にだまされて性的な被害にあうこともある。

女性の発達障がい



<傾向や困り感>

- ・朝が苦手でベッドから起き上がれない。
- ・怒られた記憶が何年もある。
- ・感情面のかたよりに苦しみやすい。
- ・こだわりの強さから摂食障がいになりやすい。
- ・内科や婦人科で心身症と言われやすい。

女性の発達障がい

<対策や支援>

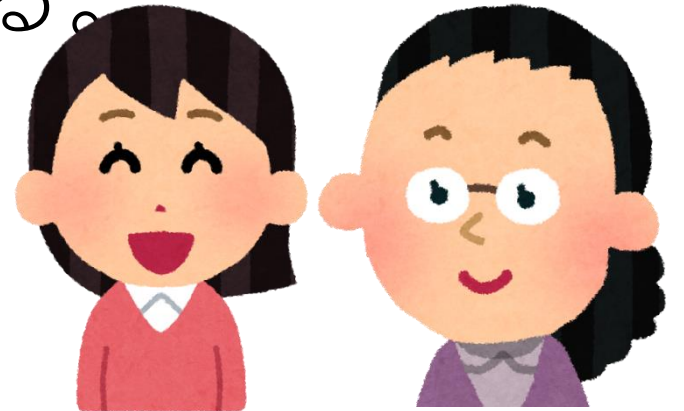
- ・思い切って女子のグループをやめる。
- ・雑談がうまくなくても良いと考える。
- ・家族にトラブルを解説してもらう。
- ・ファッションには家族の意見を求める。
- ・ひとりになって休める時間をつくる。



女性の発達障がい

<対策や支援>

- ・むだ毛のケアなどをマニュアルで覚える。
- ・まず家族で性被害の危険について学ぶ。
- ・着替えや入浴に一定のルールをもうける。
- ・プライベートトークの時間をつくる。



障がいの受容と支援への参画

- ・ 早い段階での障がいの受容
- ・ 本人の特徴や良いところの理解
- ・ 個別の教育支援計画や個別の指導計画作成への参画
- ・ 利用できるサービスの活用
- ・ 学びの機会の活用



分かりやすい選択肢と本人の決断

「分かっているだろう」のすれ違い

- ・ このくらい分かっているだろう
- ・ このくらい言ったんだから分かるだろう
- ・ 高校生だからできるだろう
- ・ 「1」 いえ「10」わかるだろう
- ・ 経験不足で知らなかった。
- ・ 本人もできるつもり、分かるつもり
- ・ 応用が苦手
- ・ 失敗を他のことに生かせない



分かりやすい選択肢と本人の決断

- ・ 文字、文章、イラスト
図など
見て分かる、残る形に

- ・ なるべく分かりやすく
- ・ 選択肢をあげる
- ・ 本人が納得して決める。



言語化
(ことばにする)

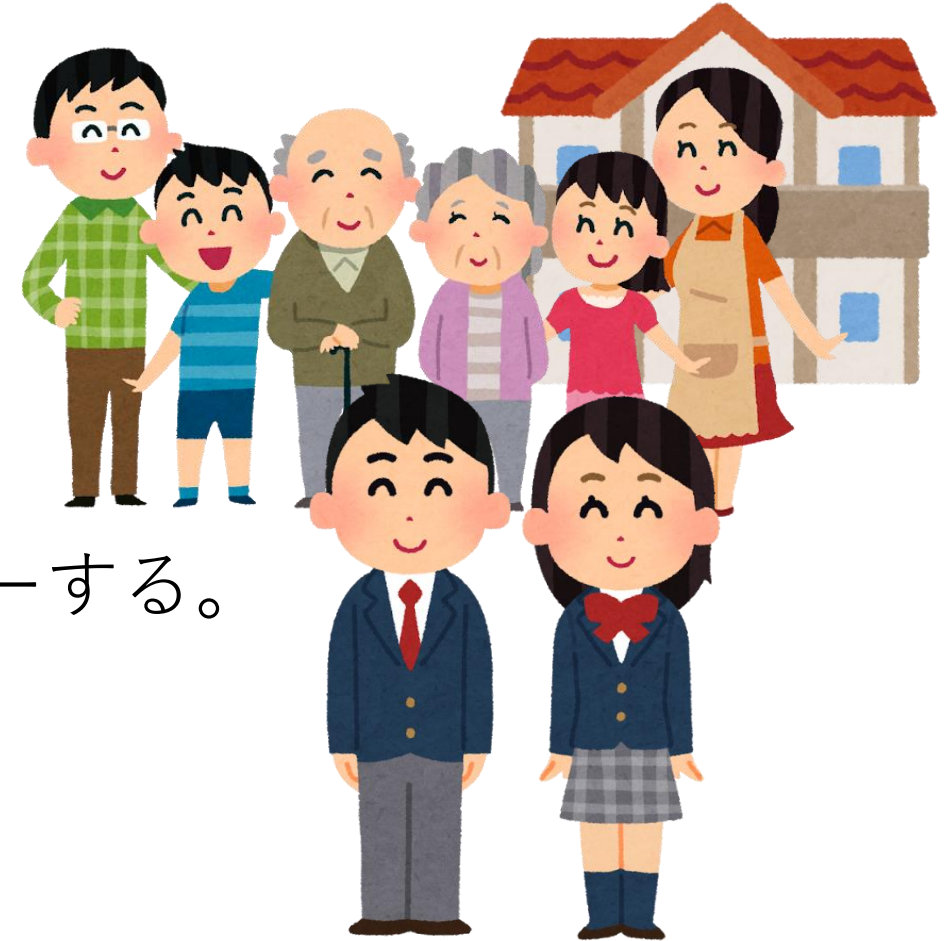


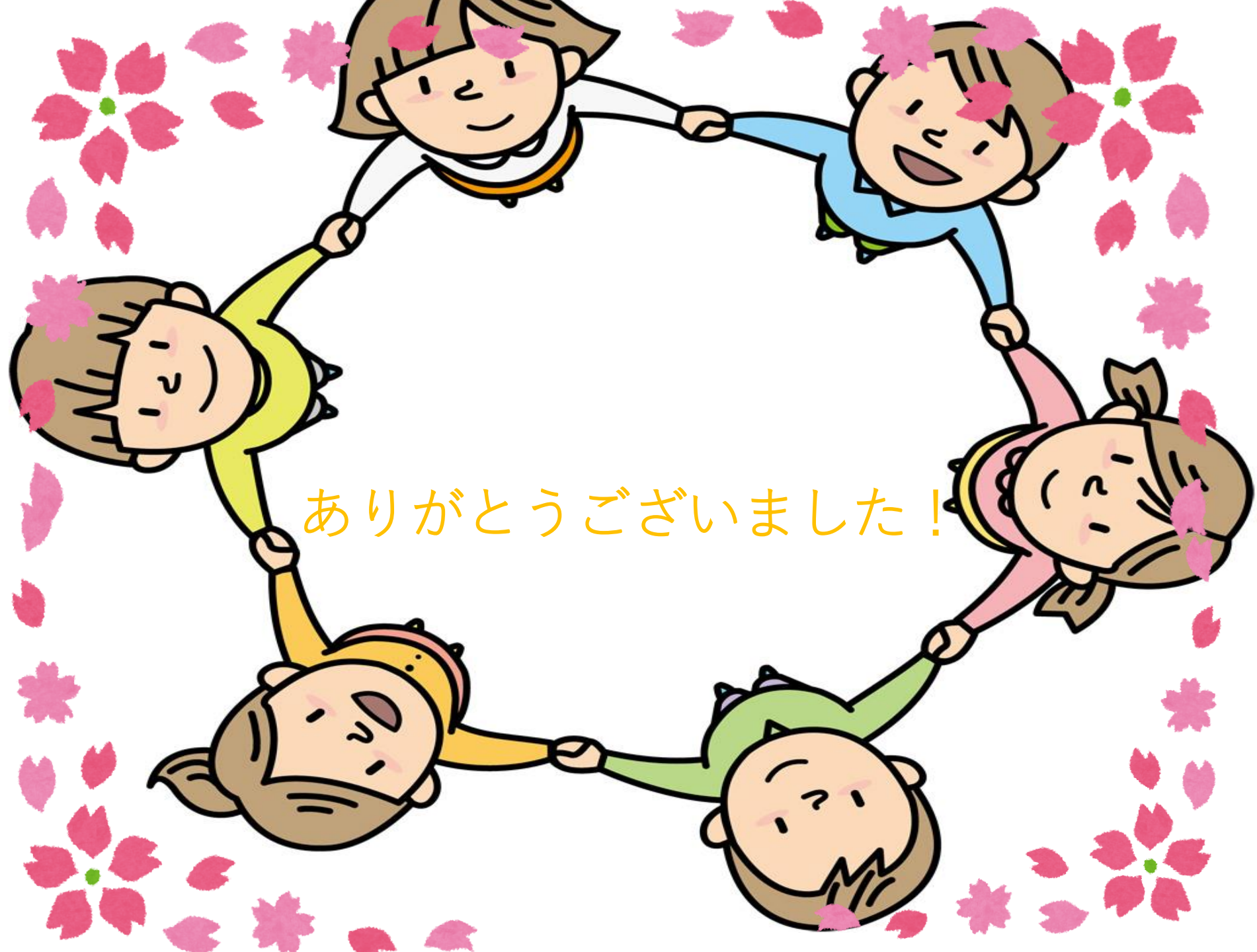
視覚化
(見えないものを見えるようにする)



家族の理解と支え

- 本人の一番の理解者
 - 戻って来れる場所
 - 失敗を受け止めて次に生かす。
-
- 分かるように説明する
 - 本人の決断を尊重する。しかしフォローする。





ありがとうございました！